

事務事業名		特別障害者手当等給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4032	一般	3	1	2	特別障害者手当等給付事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度	～	年度	根拠法令 条例等	特別児童扶養手当等の支給に関する法律、障害児福祉手当及び特別障害者手当等事務取扱要綱				
							任意的事業・義務的事業		義務的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		現金・現物給付事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
20歳以上の特別障害者及び20歳未満の重度障害児で在宅の方からの申請に基づき認定事務を行い、月額26,620円、14,480円の手当を支給。 2、5、8、11月に前月までの3か月分を支給。 額の改定 H26.4～ H27.4～ 特別障害者手当 26,000円 26,620円 障害児福祉手当 14,140円 14,480円 福祉手当 14,140円 14,480円			事業概要と同様。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
特別障害者手当受給者数、障害児福祉手当受給者数、福祉手当受給者数(5月支給)			人	137	131	148	148	148		
特別障害者手当支給月数、障害児福祉手当支給月数、福祉手当延べ支給月数			月	1,609	1,548	1,722	1,722	1,722		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・20歳以上の在宅の精神又は身体に著しく重度の障害で、常時特別の介護を必要とする方。ただし、施設入所者及び継続して3か月以上入院している方を除く。 ・20歳未満の在宅の方で、精神又は身体に重度の障害で、常時介護を必要とする方。ただし、年金受給者及び施設入所者を除く。 ・20歳以上の在宅の方で、特別障害者手当に該当せず、障害基礎年金も支給されない方。			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
20歳以上の特別障害者			人	84	82	90	90	90		
20歳未満の重度障害児			人	49	45	54	54	54		
福祉手当受給者数			人	4	4	4	4	4		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
在宅の重度の方のいる家庭において、諸経費が掛かるため、経済的負担の軽減を図ることができる。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
支給決定している人数/申請者			%	100	100	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
日常生活用具及び補装具費等受給者数			件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		国庫支出金	千円	26,095	25,137	27,654	27,654	27,654	
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,698	8,178	9,220	9,220	9,220	
		事業費計(A)	千円	34,793	33,315	36,874	36,874	36,874	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		特別障害者等福祉手当	34,793	特別障害者等福祉手当	33,315	特別障害者等福祉手当	36,874	特別障害者等福祉手当	36,874
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	のべ業務時間	時間	200	200	200	200	200		
	人件費計(B)	千円	778	788	788	788	788		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	35,571	34,103	37,662	37,662	37,662		

事務事業名	特別障害者手当等給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	省令に基づき、更生援護を図るために開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国消費者物価指数の実績値にあわせて支給金額の改定。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 特別障害者手当等を給付することで、安定した生活が送れるようになる、意図は結果に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 国で定められた事務のため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 国で対象者と目的意図が定められた事務であるため。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 事務処理方法については、国の支給決定基準に従い進めているため、向上の余地がない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 法令に定めがある事務のため、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 法令に定めがある事務のためである。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
法令に定めがある事務のためである。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			